

平成30年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	長野 海沼
	全体計画						経費区分		-		内線	3254
事務事業名	4128 公衆トイレ管理事業											
所 属	121000 市民環境部・生活環境課											
施 策	03011200 循環型社会の形成と環境衛生施設の適切な管理											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	040105 衛生費・保健衛生費・環境衛生費										
	事業	050000 公衆トイレ管理事業										
事業目的						事業概要・効果						
環境衛生施設の適正な管理することにより、きれいで美しい町を保全する。						使用者に快適な環境施設を提供する						

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
公衆トイレの清掃等を実施し、維持管理に努め、適正な管理を行った。	清掃等維持管理に努め、適切な施設管理を行った。太子町公衆トイレの様式化工事を実施した。
平成29年度 実績	平成30年度 予定
清掃等維持管理に努め、適切な施設管理を行った。新町公衆トイレの様式化工事を実施した。	清掃等維持管理に努め、適切な施設管理を行う。中部電力の電気契約を見直す。
平成31年度 予定	平成32年度 予定
清掃等維持管理に努め、適切な施設管理を行う。	清掃等維持管理に努め、適切な施設管理を行う。

指標名	無し					
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成29年度 決 算	平成30年度 予 算
事業費		2,480	1,605
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	30	30
一般財源		2,450	1,575
人員数(人)	正規職員	0.3	0.3
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.2	0.2
人員コスト	正規職員	2,144.7	2,144.7
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	235.8	235.8
	計	2,380.5	2,380.5
市民一人当たりの経費		0.1	0.1
総額		4,860.5	3,985.5

(単位：千円)

平成29年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	3	芝宮トイレ借地謝礼
11節 需用費	1,815	消耗品82、電気料272、水道料180、下水道使用料115、修繕料1167
13節 委託費	662	清掃業務委託料 ぶどうの家199、シルバー人材センター463
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

(単位：千円)

平成30年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	4	芝宮トイレ借地謝礼
11節 需用費	909	消耗品98、電気料240、水道料219、下水道使用料145、修繕料207
13節 委託費	692	清掃業務委託料 ぶどうの家220、シルバー人材センター472
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	公衆トイレの適正な管理を行い、居住環境の整備並びに観光客等に気持ちよく利用してもらった。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	公衆トイレの適正な管理を行い、居住環境の整備並びに観光客等に気持ちよく利用してもらった。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	公衆トイレの清掃業務について、穀町は田中本家博物館で行い、新町及び太子町はぶどうの家に委託し、その他の公衆トイレはシルバー人材センターへ委託した。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

新町公衆トイレの洋式化工事を実施し、6箇所すべての公衆トイレの洋式化が完了した。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>公衆トイレの洋式化や修繕に努め、快適に安心してご利用いただけるよう、施設整備を図ってきた。今後においても施設の快適性を維持するため、適切な管理を行っていく必要がある。管理体制については、民間への移管も含め検討が必要。</p>		<p>市民や須坂への来訪者のため、洋式化等の改修、適切な維持管理に努めた。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	